

平成25年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	千曲川・犀川ふれあいキャンペーン	事業経緯	継続	実施体制	後援	担当所属	長野支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)		表彰活動支援事業		事業区分	表彰、コンクール

1. 事業目的

千曲川・犀川は、流域に暮らす人々の生活と密接に結びつき、豊かな恵みを与え、産業や文化とも深く関わってきた。また、「ふるさとの原風景」としても親しまれ、詩歌や文学など、さまざまな分野で、多くの方々に愛されてきた。

こういった河川の持つ魅力や自然の変化を、絵画を描くことを通じて小中学生に感じてもらい、学校や家庭とともに、自然環境、景観、自然の脅威、治水事業などについて学ぶ機会とすることを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催: 国土交通省千曲川河川事務所

後 援: 千曲川・犀川水防連絡会、千曲川・犀川河川緑地連絡会、長野県、長野県教育委員会、長野県漁業協同組合連合会、千曲川改修期成同盟会、犀川直轄改修期成同盟会、北信地域千曲川等改修促進期成同盟会、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、一般社団法人北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

◆作品募集・テーマについて

千曲川・犀川流域の「川」を題材にした絵画。川の思い出、川とのふれあい、川の生き物など自由。

地域の小中学生から募集。

① 部門: 小学校低学年(1~3年生)の部

小学校高学年(4~6年生)の部

中学生 (1~3年生)の部

② 表彰: 金賞・銀賞・銅賞・入選 総計45点(審査の状況により変動あり)

③ 日程: 募集案内発送 6月下旬~募集締切 10月17日

◆審査及び入賞作品について

① 審査日: 平成25年11月18日(月)

② 審査員: 長野県美術教育研究会に依頼

③ 入賞作品展示:

・平成26年7月、長野市役所玄関棟2階「展示スペース」に展示予定
・千曲川河川事務所ホームページに掲載

入賞作品の掲載・活用

・ホームページ

・封筒デザイン

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本コンクールは、開始後今年で29年を経過し、児童生徒には絵を描くことを通じて河川や自然に親しむ機会として定着している。また、入賞作品はホームページに掲載したり、パンフレットの挿し絵や封筒デザイン等に活用され、多くの人が目に見える機会を提供している。

今年度は、長野県内の各小中学校から246点(小学校低学年48点、小学校高学年139点、中学生59点)の作品が寄せられ、審査会を経て45点の入賞作品が決定した。



【総 27】

曾我見櫻樹ひる風、まき地。絵にまきうさぎで遊びますこと。娘たち見るかめえます。

今朝も日暮れで、そ千曲川(犀川)について多くの見物を始めた。たとへられ作品が豊かく見られた。

小学校低学年では、川の絵、かわいい体験や感、伝達や「生き物の大好き」を、かくしておいて大きめに表現した作品が多くありました。

小学校高学年では、舟遊びの特徴や川にかかる橋など個性的に捉え、細かい具象性にこだわった作品が少なかった。しかし、その一方で、小学校高学年では、豪華な絵や豊かな表現力が見られ、表現が織り込まれた作品が豊かに見られた。

これがまさにこの特徴をもって、自分たちの生活に馴染んでいる貴重な平面アート界によう組み、新たな見識をもたらすは止まない。

【小学校低学年の部】

【小学校高学年の部】

【中学生の部】

金賞 めずらしくりりこをこなすよ

銀賞 かにぎりさん つかまえたよ

銅賞 がたりと千曲川で じーくゅー

入賞作品の掲載・活用

・封筒デザイン

・ホームページ